



地域おこし協力隊
農業支援員
こばやしゆうた
小林優太さん(30歳)
着任▷平成30年4月
出身地▷千歳市

「協力隊の任期が来年3月に迫りましたね。」

1年目、2年目は主に研修農場で農業の基礎を学びましたが、3年目の今年はあるという間という感じですね。富里地区の農場で、根菜類の栽培を学んでいて、種まきから収穫まで、一連の作業を経験させていただいています。日々、勉強と実践の繰り返しで、時間が足りないくらいです。大変ですが、とても充実しています。

「農場での苦労話を聞かせていただけますか。」

これまで学んできたホウレンソウやトマト栽培に比べ、根菜類は作物が地中にあるため、生育状況を把握するのが難しいと感じています。芽の状態を見たりこまめに除草して、病害虫が着かないようにしています。葉物と違って連日、作物を注視しなければなら

ないことはないんですけど、追肥や水をやるタイミングなど、その時の天候を見ながら判断するのが難しいですね。それと、最も大変なのは収穫です。10月末から半月かけて収穫しますが、実を傷つけないようにすべて手で掘っています。80数列の畑に対し、一人で1日掘れるのは5列程度。大変な作業ですが、「農業をやっている」という実感が味わえるので、楽しさの方が勝っています。

「任期終了後の予定を教えてください。」

現在、通わせていただいている農場で、根菜類の委託栽培を続ける予定です。表町地区の民間住宅から、富里地区の農場に通います。土地を取得して将来、独立するため、今はもう少し時間をかけて、更に栽培技術を磨きたいと思っています。

厚真町地域おこし協力隊

任期を終えるにあたり

3年間の任期を終えてそれぞれの道を歩む小林さんと高橋さんに新たなスタートに向けた思いを伺いました。

「来年3月末で任期が終了しますね。」

私も、小林さんと同じ富里地区の農場で、根菜類の栽培を学んでいます。上厚真地区の賃貸住宅から、毎日、車で通っています。決して順風満帆とは言えませんが、改めてやりがいを感じています。4月以降も今の農場で委託栽培を続けながら、将来、町内で独立を目指します。

「小林優太さんと一緒に委託栽培するのはどうですか。」
そうですね。現在の農家さんの配慮もあり、小林さんと二人で、根菜類の委託栽培を続けます。栽培経験は、まだ1年ですから、とにかく覚えることが多くて、追い込まれているという感覚もあります。もっと知識や経験を積んで基礎力を養わなければならぬと考えています。それと、農地を取得するには、まだ時間がかかりそうです。今、まだ今の農場で委託栽培を続ける理由の一つです。師匠（現農家）からノウハウを学び、自信と経験を重ねて安定した農家になるのが目標ですから、時間をかけて焦らず着実に営農に向けた基礎固めをします。とにかく畑に出て、体で覚えることが大切だと思っています。

「今後の目標を教えてください。」

農業支援員になってから、特に同世代の異業種の人たちと仲良くなりました。気心が知れた仲間と、この地で農業を続けるための心の支えでもあります。仲間を大切にしながら、これからも頑張り続けるつもりです。



地域おこし協力隊
農業支援員
たか けい いち
高橋慶一さん(43歳)
着任▷平成30年6月
出身地▷苫小牧市



Vol.253

厚高インフォメーション Atsuma High school Information



学校の取り組みをご覧ください。
厚真高校ホームページ
<http://www.atsuma.hokkaido-c.ed.jp/>

■セーフティコールあつま(11月13日)

1年生27人が参加して、中心街で町民と一緒に「交通安全」の啓発活動を行いました。町長の挨拶に続いて交差点の沿道に並び、新調した交通安全ののぼりを掲げてドライバーたちに「スピードダウン」や「シートベルトの着用」などをアピールしました。寒い中、町民の皆さまお疲れさまでした。特に、これからの冬の時期は路面状況が悪くなり、歩行や車の運転には十分気を付けましょう。

■全校集会(11月16日)

新型コロナウイルス感染症の対策で、

新型コロナウイルス感染症の対策で、新しいことには学びたいという気持ちで、積極的に取り組んでいきたいと思います。

臨時の全校集会を開きました。南原賢二校長が、感染の第三波ともいわれる状況の中で、どのようなことを意識して生活していかなければならないかを全校生徒へ呼びかけました。南原校長は「まず、密の回避やマスクの着用、手洗い、消毒、換気をするのが大切です」と話し、改めて新しい生活様式を確認しました。引き続き、感染予防に取り組んでいきます。

■2年生進路ガイダンス(11月19日)

(株)リクルートマーケティングパートナーズの木村園美さんを講師に招き、2年生対象の進路ガイダンスを実施しました。

適性診断や面談を通して、これからの進路選択をどのように考えるかを知り、自ら行動できるようにするのが目的です。生徒は、メモをとりながら自分の将来や仕事について、真剣に考えました。

■後期中間考査(11月25・27日)

生徒は懸命に取り組まれました。考査前には、放課後になっても暗くなるまで自発的に教室に残る生徒もいて、互いに勉強を教え合う熱心な姿が見受けられました。

生きることは学ぶこと。学ぶことは生きることです。日ごろの学習の成果を発揮できたでしょうか。さらに、学び続けましょう。

短歌

あつま文芸友の会発行「文芸あつま第二十四号」から抜粋

もうこれが最後の時と思ひつつ野にたち再び初日の出待つ
雪が降り山々の崩れ跡隠れたり新年迎え普段に戻るか
元旦の娘の一家より電話来る毎年ながら嬉しいものよ
本郷 湯浅悦子

発表します!!

将来の夢&目標

厚真中央小学校6年

たなか せふ は
田中 萌葉さん



たてわき まさひこ
帯刀 正彦くん



はやさき ねごと
早崎 凧人くん



ぬまた かなと
沼田 奏和くん



ささき ふうか
佐々木 楓華さん